

（事業所職員） 児童発達支援自己評価表の集計結果（公表）

公表 : 令和7年 3月14日

事業所名 四街道市児童デイサービスセンターくれよん

配布数 9 回収数 9 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9			8名以上は狭くなるので、別の部屋を使い、分ける必要がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	5	3	1	今現在ではできているが、ギリギリの人数だと思う。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8			無回答 1
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	7	2		日によっては確保が難しいこともある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル*注1(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	3		
	7	保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	9			
	8	事業所向け自己評価表により事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容をホームページ等で公開しているか。	6	2		無回答 1
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				
	10	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	7	2		
	11	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	1		
適切な支援の提供	12	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	7	2		現場を動かすのは、正規職員がいた方が良い。(日中のプログラム)
	13	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9			
	14	児童発達支援支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	9			計画の協議を行い、個別ケース会議を定期的に行っている。
	15	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツール(専門プログラムの申送り表等)を使用しているか	8	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9			
	17	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	1		
	18	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	7	1		無回答 1
	19	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	2		その日のリーダー(非常勤)が1人で考えることも多い。

20	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9			活動プログラムを考えることが難しい。
21	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	9			
22	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9			
23	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	1		午後に療育が控えている日は、バタバタしている為、話せないこともある。
24	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			
25	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9			
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	1		
27	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9			
28	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
29	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
30	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか(幼稚園訪問等)	9			
31	移行支援として、小学校や、特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報(就学シート、個別支援計画等)共有と相互理解を図っているか	9			
32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等(教育委員会の特別支援教育)の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	1		
33	保育所や認定こども園、幼稚園等(おもちゃ図書館等)との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6		2	無回答 1
34	(自立支援)協議会子ども部会(児発管が出席)や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	9			
35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	1		
36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援(個別面談、ペアレント・トレーニング等)を行っているか	8	1		
37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9			
38	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9			
39	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9			
40	母子分離や勉強会の時間を設けるなどして保護者同士が交流できる機会を設けているか。	9			

保護者への説明責任等	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9			
	42	定期的に会報等(毎月の予定表等)を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9			
	43	個人情報の取り扱いに十分注意をしているか	9			
	44	障害のある子どもや保護者の意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	1	3	無回答 1
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知(事務室カウンターに設置、回覧)するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9			
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練(年3回の避難訓練)を行っているか	8			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2	1	・現在アレルギー児はいなかった ・保護者が対応している ・無回答 1
	49	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況(契約時の健康状況表)を確認しているか	9			
	50	ヒヤリハット事例集(ファイル)を作成して事業所内で共有しているか	9			
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会(児発管による研修報告)を確保する等、適切な対応をしているか	9			
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9			
	53	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	9			

注1: Plan計画、Do実行、Check評価、Action改善を繰り返すことで、管理業務を改善していく手法